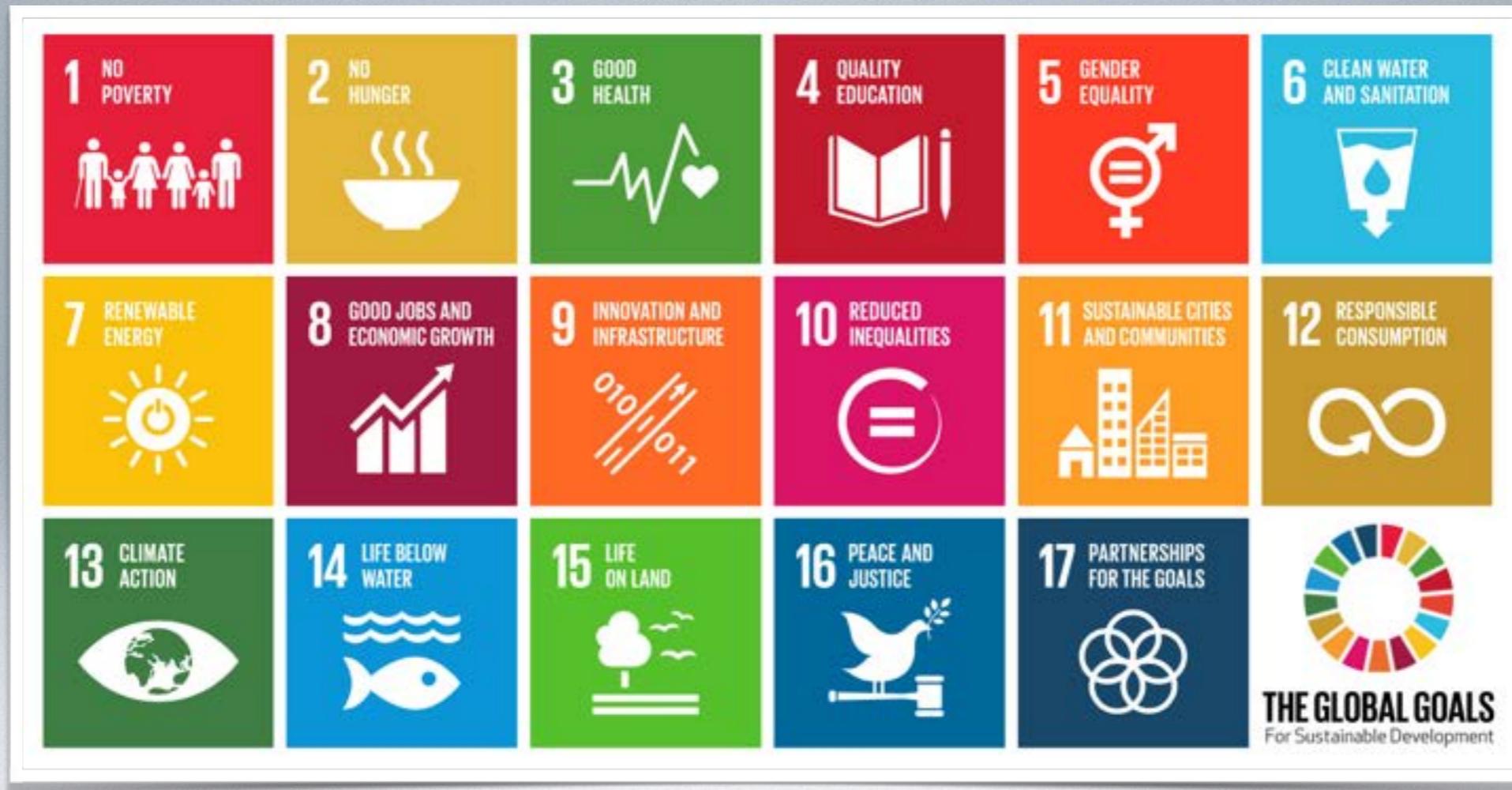


SPODフォーラム2016

学生の経験を学びに変える

→学びを生かした行動へ



小林 修

愛媛大学SUIJI推進室 副室長

愛媛大学国際連携推進機構アジア・アフリカ交流センター 副センター長

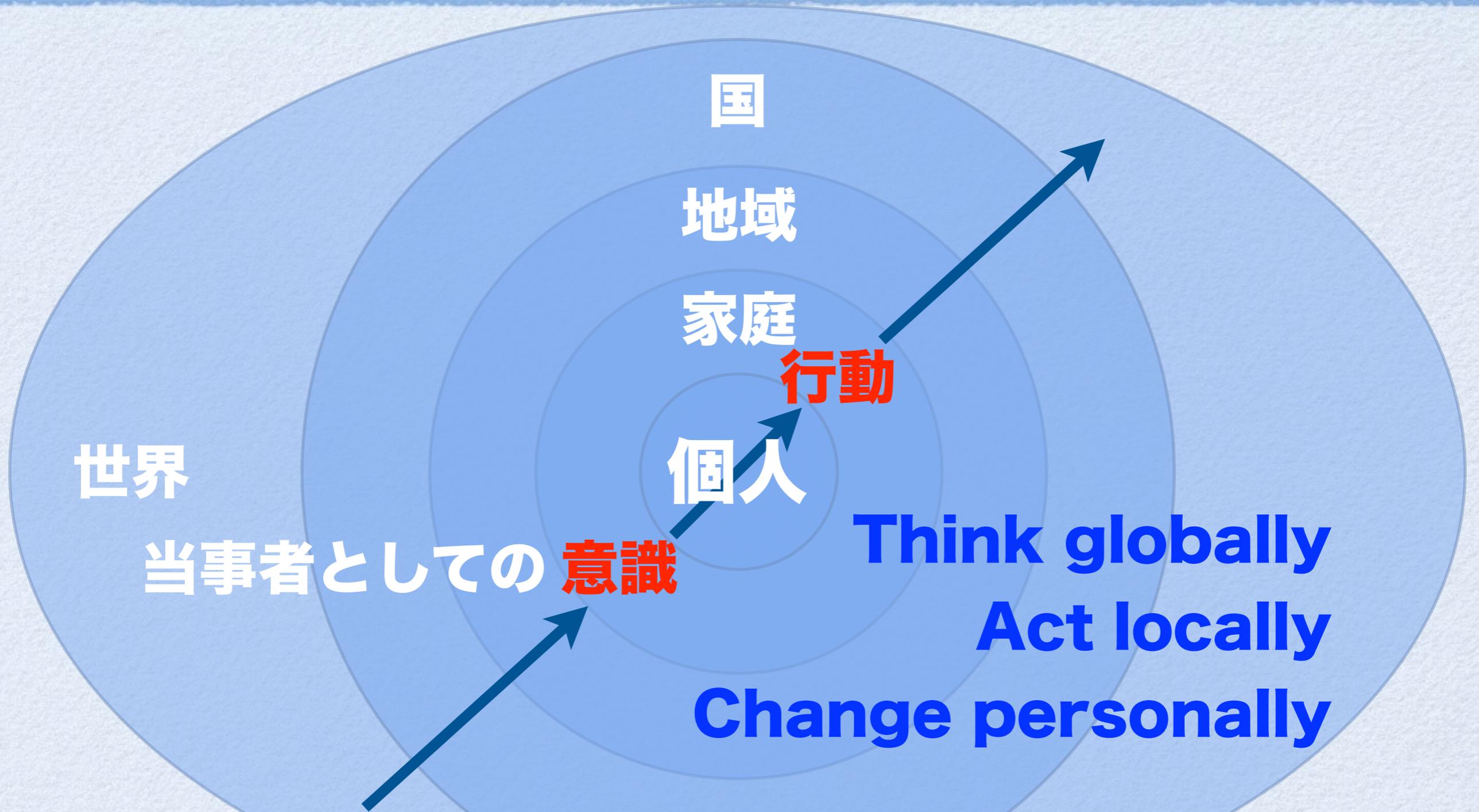
モザンビーク交流推進班 副班長

効果的な学びとは？

- ・聞いたことは忘れる。
- ・見たことは思い出す。
- ・体験したことは理解する。
- ・発見したことは身につく。

→ **実践的・主体的な学びの効果を
最大限に活用**

つながりを生かした行動

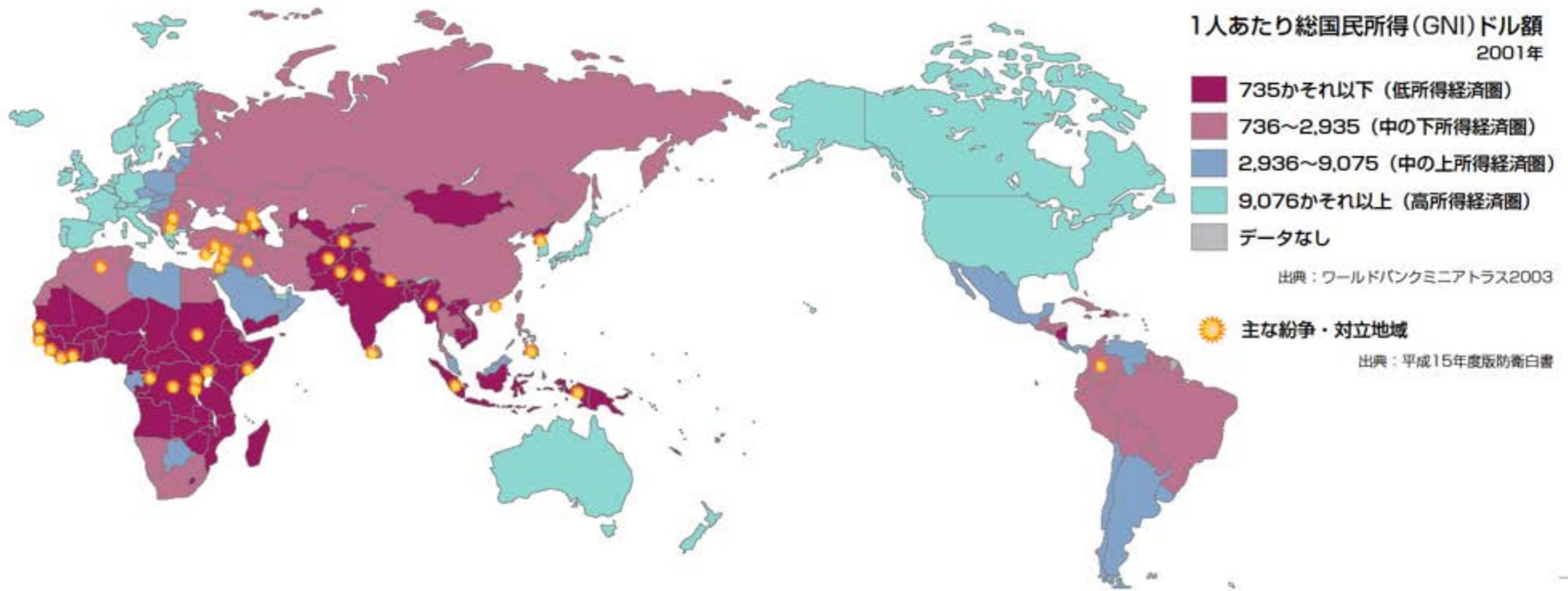


つながりを意識した学び

紛争・対立地域と所得の関係

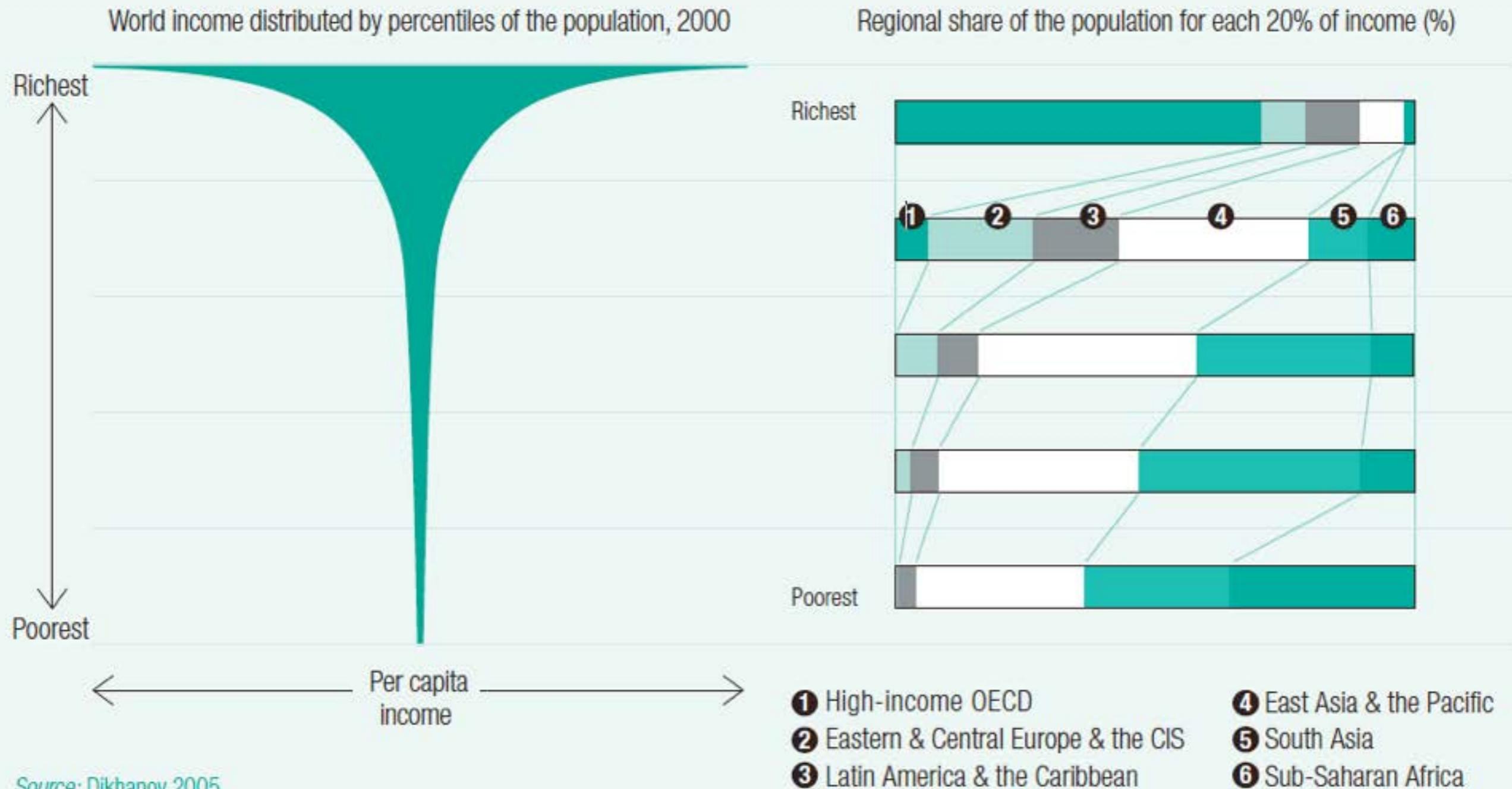
世界の主な紛争・対立地域と所得の比較

主な紛争・対立は開発途上国に多発しており、その遠因には、貧困問題が関わっている場合が少なくない。



所得と経済のシャンパングラス

Figure 1.16 | Where the money is



Source: Dikhanov 2005.

世界には食糧は足りないの？

人口(人)



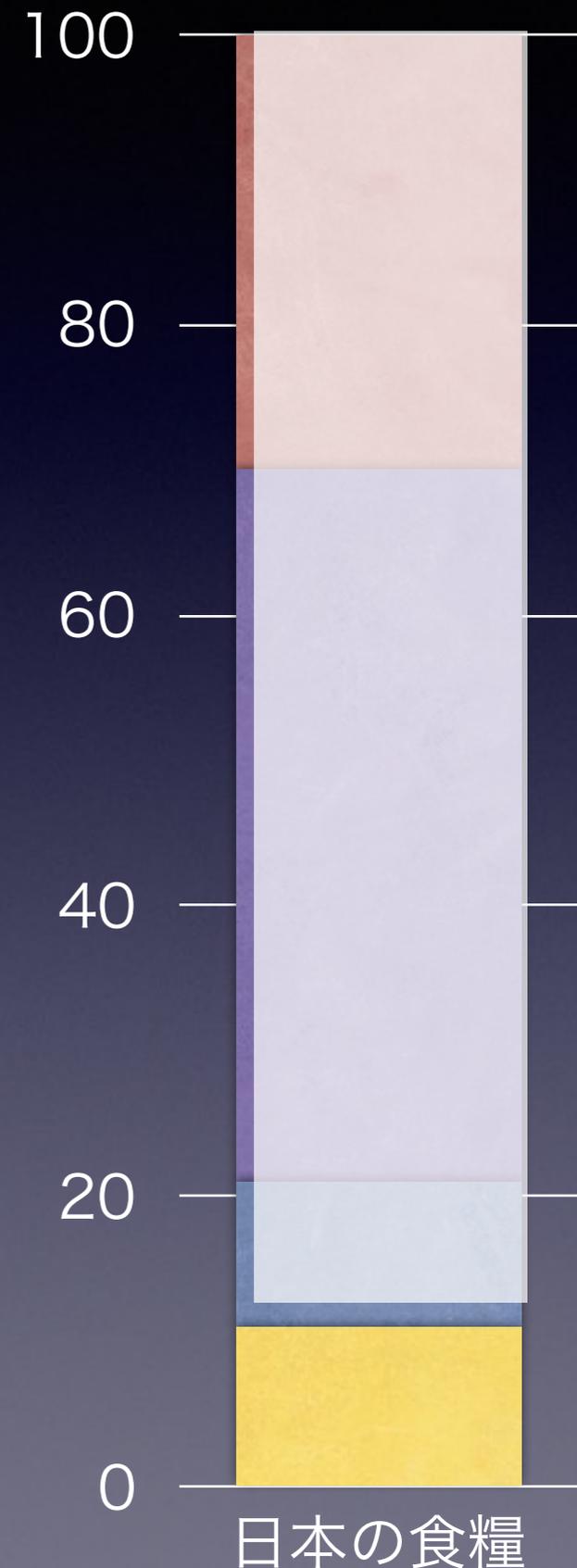
人口(人)



**世界では
毎年20億トンの穀物（お米や小麦，トウモロコシなど）
が生産されています。**

日本の食料消費・・・

- 日本人は食料の約70%，約5800万トンを入力しています。
- 輸入している食料の約30%を捨てています。（約1800万トン）
- 捨てている量の半分は家庭から出ています。
- 日本の家庭で捨てている量は，開発途上国で暮らす人の約5000万人分です。



世界の人々が日本人と同じ生活水準で
持続的な生活をするためには・・・

地球が何個必要でしょう？



地球が約2.5個必要

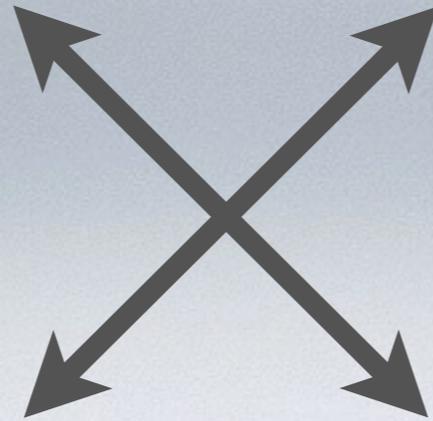
KEYWORDS

Growth
成長



Development
發展

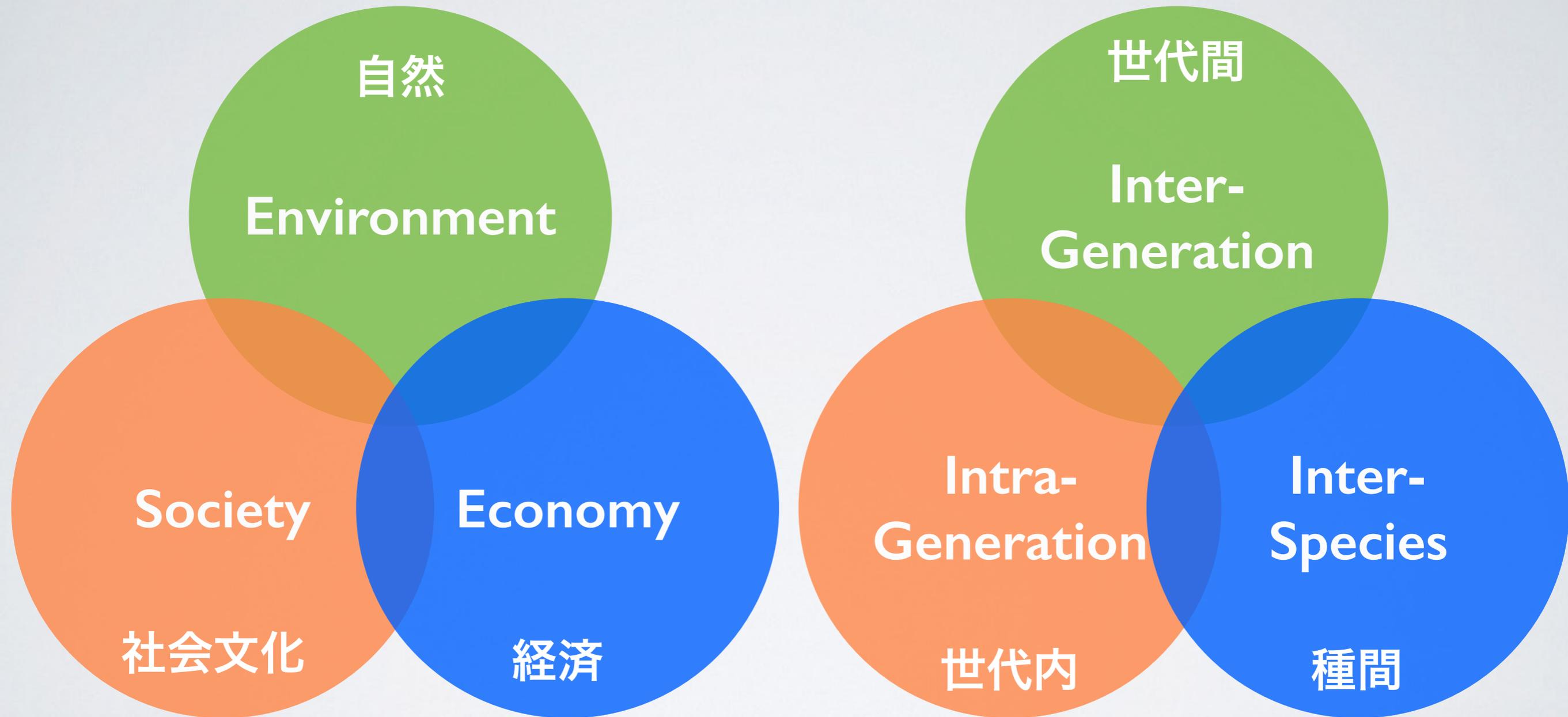
Quantity
量



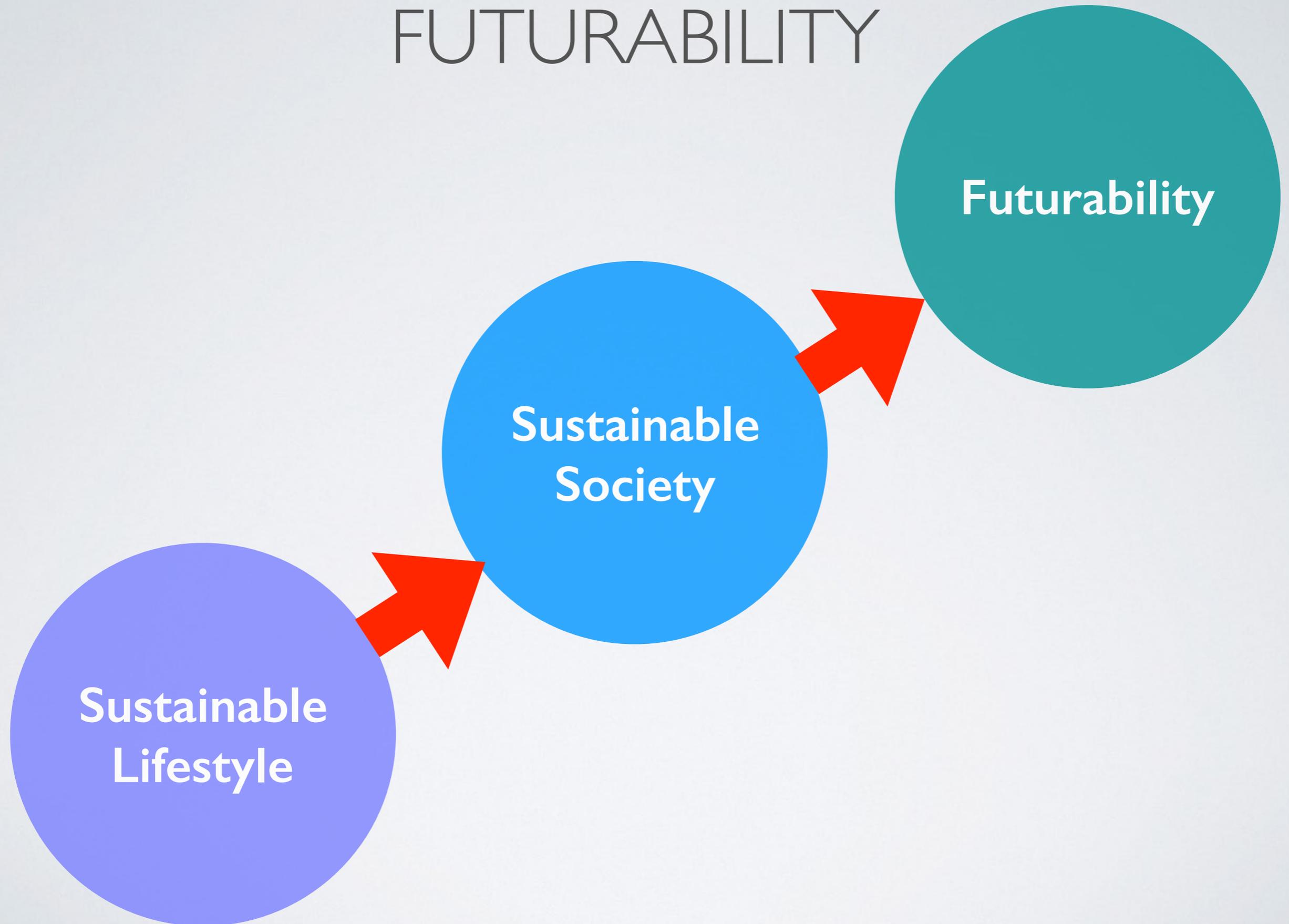
Quality
質



SUSTAINABLE SOCIETY



SUSTAINABLE DEVELOPMENT FOR FUTURABILITY



それぞれの目標を、関係のあるイラストと線でむすんでみよう 

- 目標1: ^{ひんこん}貧困をなくすこと
- 目標2: ^{きが}飢餓をなくすこと
- 目標3: 健康であること
- 目標4: 質の高い教育
- 目標5: ジェンダーの平等
- 目標6: 清潔な水と衛生
- 目標7: 再生可能エネルギー
- 目標8: 適切な良い仕事と^{けいざい}経済成長
- 目標9: 新しい技術とインフラ
- 目標10: 不平等を減らすこと
- 目標11: 持続可能なまちと^{ちいき}地域社会
- 目標12: 責任を持って消費すること
- 目標13: 気候変動への^{きこうへんどう}対策^{たいさく}
- 目標14: 海のいのちを守ること
- 目標15: 陸のいのちを守ること
- 目標16: 平和で公正な社会
- 目標17: 目標のために協力すること



大学生に関わること



未来づくりに関わること

日本とインドネシアをつなぎ

農山漁村の未来をつくるサーバント・リーダー養成



文部科学省 平成24年度

「大学の世界展開力強化事業～ASEAN諸国等との大学間交流形成支援～」採択

「日本・インドネシアの農山漁村で展開する6大学協働サービスラーニング・プログラム



事業の目的と概要



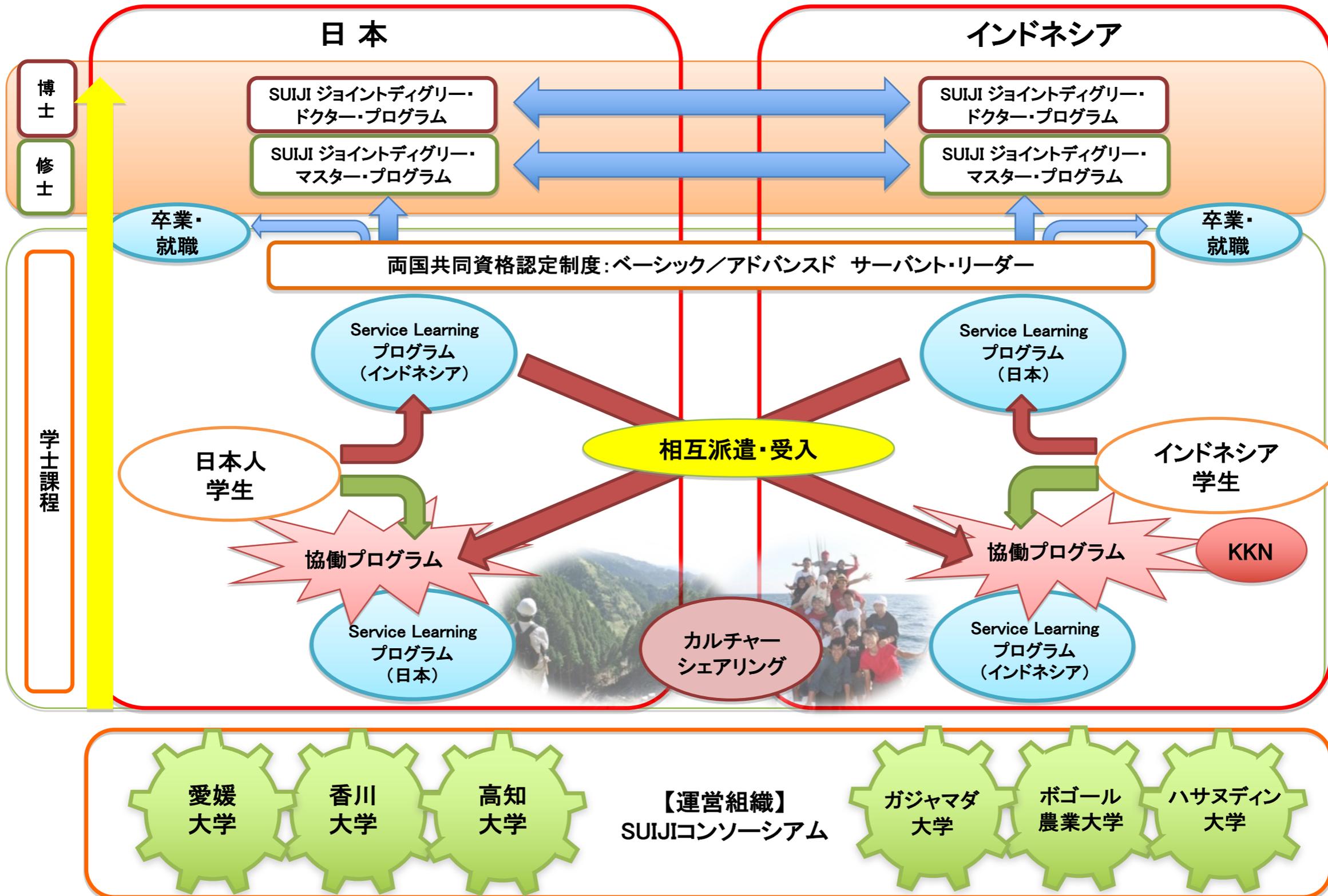
事業名称： 日本・インドネシアの農山漁村で展開する
6大学協働サービスラーニング・プログラム

目的

地域に立脚して未来社会の持続的発展に貢献できる
国際的なサーバント・リーダー（地域社会で献身的に
活動できるリーダー）を養成する。

- 日本・インドネシア6大学で構成するコンソーシアムの下、
- 学士課程においては、両国の学生が、2～3週間にわたって共に農山漁村に滞在し、現実の課題に取り組むサービスラーニングを実践する。
- 修士・博士課程においては、共同学位プログラム(Joint Degree Program)を構築し、農学分野の実践的なフィールド調査・研究を行う。

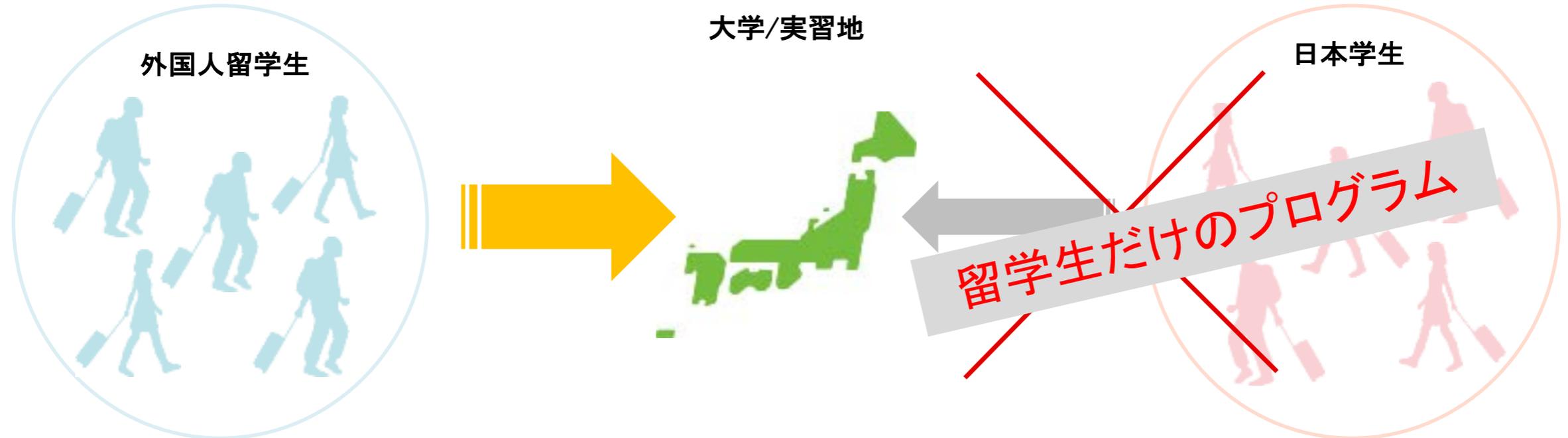
プログラムの概要



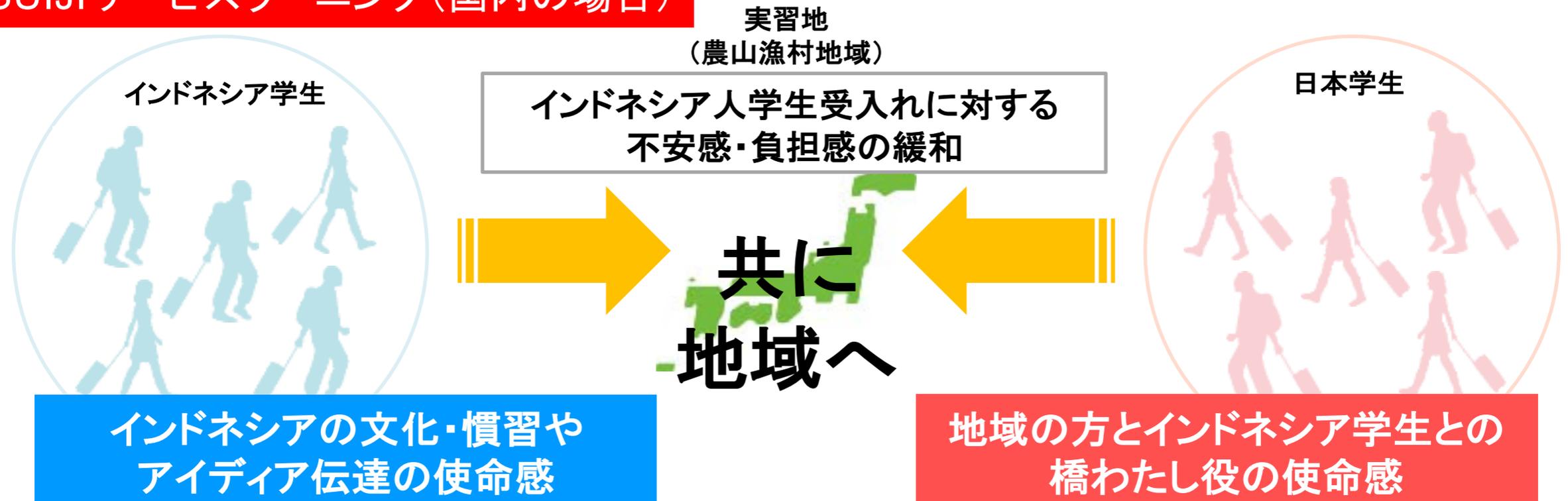
SUIJIサービスラーニングの特徴



多く見られる日本への留学プログラム



SUIJIサービスラーニング(国内の場合)



SUIIサービスラーニング・プログラムが果たす役割



留学生と日本人学生が同時に参加する

- 多様な文化を取り入れた視点で双方の地域課題解決に取り組むことができる
- 地域が英語を扱えなくても地域の国際化を図ることができる。
- 国内留学として、海外に出向かずに学生のグローバルマインドを育成するしくみ→愛媛大学全学生を対象にグローバルマインドを育成へ

日本と海外の双方で実施する

- グローバルな取組として、一方の地域への取組に終わらせない双方向のしくみ
- 将来的には、学生に限らず地域住民の知識、人的交流へ発展

初年次履修 (高年次履修科目が続く)

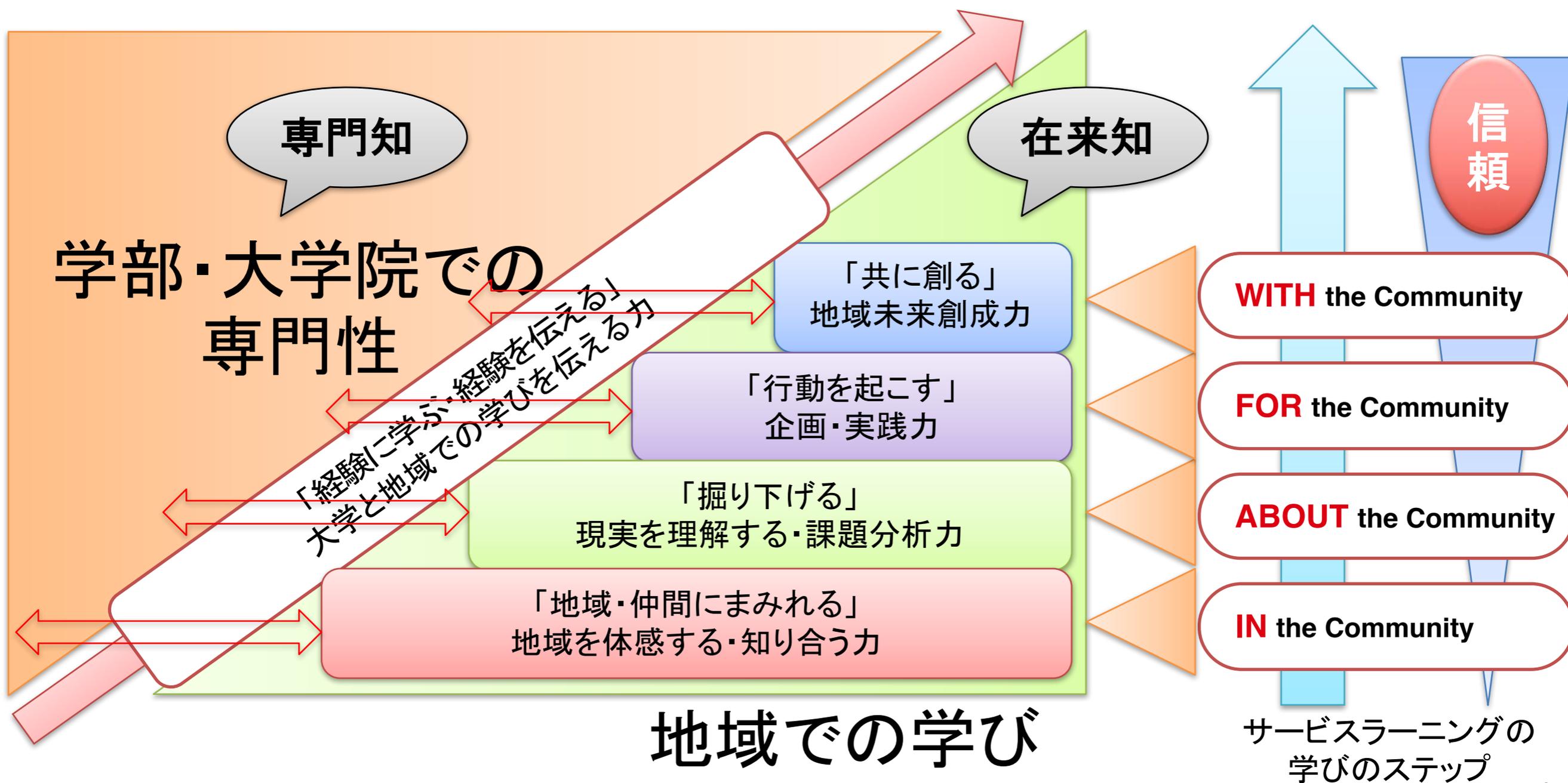
- 学習目標の明確化
- 学習動機向上
(学内の学生対象プロジェクト支援予算の獲得, トビタテ! 留学JAPAN)
- 内向きから外向き志向への転換→他のプログラムへの積極的な参加
- 長期にわたって地域との関係を維持して活動を継続できる

SUIIグローバル・サーバント・リーダーの力



SUIIグローバル・サーバント・リーダー

グローバルマインドを持ち合わせながら、
地域社会で一次産業を基盤とした未来社会の持続的発展に積極的に貢献できるリーダー



質問I

- 経済的合理性（すべての物は金銭に換算することができる）
- 効率神話（すべてにおいて効率を高めるべきだ）
- 技術がすべてを解決する

Ervin Laszlo；吉田三知世 訳（2006）

カオス・ポイント-持続可能な世界のための選択

質問2

- 新しい方が良い
- 正しかろうが間違っていようが自分の国を支持する
- 未来など自分にはまったく関係ない

Ervin Laszlo ; 吉田三知世 訳 (2006)

カオス・ポイント-持続可能な世界のための選択

質問3

- 自然は無尽蔵である
- 世界は1つの巨大な機械である
- 人生は適者生存の闘争である

Ervin Laszlo ; 吉田三知世 訳 (2006)

カオス・ポイント-持続可能な世界のための選択

質問4

- 消費すればするほどよい人間になれる
- お金を持てば持つほど幸福になれる
- 経済的な目的は軍事的手段を正当化する

Ervin Laszlo ; 吉田三知世 訳 (2006)

カオス・ポイント-持続可能な世界のための選択